

やはり「現地」が面白い

友の会会員 吉田和夫(さいたま市)

やはり「現地」を歩くのが面白い。宝の山です。いつしかアドレナリンも上り五感が働きだし、思わず時間が経ってしまうことがしばしば。ある人曰く、“なかなか動かないねえ”。

思い起こせば、昭和の最後の10年間は関西に転勤中で、飛鳥を随分と歩き廻りました。まだあまり観光地化していなかった頃で、一人で気の向くままであったり、家族と自転車を走らせたり。ある時、甘樫丘の上で偶然会ったのが犬養先生。女子大生たちを引率していましたが万葉歌を唱っていたのかは覚えていません。

ともあれ、リタイヤ後に埼玉に戻り、県博の展示解説ボランティアになってまもなく驚きの場面に出会いました。ここ武蔵国で江戸時代前期、利根川などが大改修され、新田開発が進み、現代の関東平野の地形の基が造られたことを初めて知りました。それは目からウロコで、よくもまあ今まで知らずにいたものだと脱帽です。

それからは知らないことに気付くことが数多く、今に至ります。そうした中で歴史の関心事がゆっくりと江戸時代の武蔵国に向かい、特に村の変貌が気になります。武蔵国は『安近短』で手が届き、それはとても具合が良い。我が住む町、与野を見ると、マンションの横を江戸時代の与野領上落合村の南北道が通っています。東西を走る赤山道と交差する主要な道です。天保の『上落合村絵図』をみれば南北道に集落が集まり、観蔵院という寺があります。同寺は廃仏毀釈で明治4年に廃寺となり、その跡地に上落合小学校が建ち、毎日子供たちが通学中です。元禄の頃の上落合村は、村高318石余で家数24軒、人口173人。七郎兵衛という「年寄」が3町歩余の土地を持ち、4人家族で奉公人が8人。彼が建立した地蔵菩薩立像、供養碑、観音菩薩像が八幡通りの地蔵山に現存しています。

ここ1年余の関心事は主に千住宿と北武蔵野の新田開発です。千住宿は日光道中の初宿で江戸四宿の一つ。拡大する一大消費地の江戸と広大な北郊農村地帯の境界に位置し、宿場・市場・河岸場の三つの場の機能を備え、特に商いが盛ん。天保期には家数(2370軒)と人口(9956人)が品川宿よりも格段に多く賑わっていた。その千住の姿には、土地勘のなかったためとにかくびっくり。また、川越藩により組織的に開発されたのが北武蔵野の野火止新田と三富新田。現在の新座市と三芳町・所沢市です。開発前は茫々たる薄の原野で、栄養分が少なく水はけの悪い赤土に覆われ、ほとんど人の住めない荒地でした。

さて、もう一つハマっているのが江戸時代の古文書。ひよんなことから草加で寺子屋風の学習会に参加してはや2年余。月2回精勤です。初めは何が解らないのかも解らず、変体文字という言葉も知らずに八方ふさがりでしたが、今はよちよちと歩いています。最近読んでいるのは主に八条領(今の八潮市など)辺りの百姓たちが書いたものです。とりあえず自分の悪字は棚に上げ、彼らの下手なくずし字にも悩まされながら結構楽しんでいます。これも身近な仲間と一緒にやれているおかげで、感謝です。

今しばらくはこんなペースでよそ見もしながら行こうかな、と考えています。

次回の友の会理事サポーター会議：11月10日(日)13時より

今後のイベントスケジュール

* 申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ: <http://junosaitama.net/> ブログ: <http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- 10月18日 (金) まち歩き研究会「江戸八富士—4つの富士塚めぐり」 <前号で紹介>
- 10月20日 (日) 見学会「葛西城跡・小金城跡・国府台合戦跡見学会」 <前号で紹介>
- 11月09日 (土) 古道探索倶楽部「第31回古道を訪ねて 日光道中その4」 <今号で紹介>
- 11月12日 (火) プレミアム講座「祝いと遊び」 <今号で紹介>
- 11月20日 (水) 見学会「甲斐の国へいざ出陣! 開府500年を迎えた甲府市へ」 <今号で紹介>
- 11月29日 (金) まち歩き研究会「番外編 紅葉の高尾山・富士道へ」 <今号で紹介>

プレミアム講座 “復興の足かせ”から“地域の宝”へ 震災復興と埋蔵文化財の調査

令和元年 (2019年) 9月20日に開催 35名が参加

東日本大震災からの復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財調査では、被災自治体への応援派遣を埼玉県も行ってきました。昨年3月までの1年間、福島県の南相馬市駐在として派遣された当館の堀口智彦学芸員から体験に基づいたお話を伺う機会をもちました。

導入部では、地域や調査業務の内容説明が主で、海辺での発掘調査は埼玉では経験できない新鮮さだったこと、モニタリングポストの放射線数値を常に意識しながらの特殊性などが理解できました。お話の中心部分では、復興と調査を巡る問題が、被災地でなくても開発と文化財調査を巡って対立するような世間の認識を反映しているように感じましたが、被災地では特にその問題解決が重要であると思いました。それでも講師と同じグループで兵庫県や神戸市からの派遣者が活動されたように、阪神・淡路大震災後の経験を教訓にした初動対応や日常的な取り組みの積み重ねが役に立って進められました。

埋蔵文化財がその活用を含めて本当に“地域の宝”となるには、帰還困難区域の問題や農地整備計画の変化など、まだ課題も多く残っています。また、マスコミで伝えられる情報にも、誤認情報は減ってきたとはいえ、否定的（懸念）記事や肯定的（積極）記事が混在しており、改善のためには、関係する主体者が透明な情報公開をすることが第一だと理解しました。なお、最後に講師が触れられたように、他県の専門家との交流を復興支援の場を借りて実現できたことは“博物館の宝”にもなると思いました。(西本豊司 記)



講演会「葛西城発掘によって明らかにされた北条氏と上杉氏の攻防」

令和元年 (2019年) 9月29日に開催 141名が参加

東京の下町、葛飾区青戸にある「葛西城」は、戦国時代を通して常に戦いの最前線の場にありました。城跡からは、中国元の時代の「青花器台」や、京・鎌倉など全国8遺跡からしか発見されていない高級品・「連弁模様付茶臼」などが発見されています。

このような高級遺物が出土したということは、葛西城に地位の高い人物が居住していたことを意味し、それが古河公方足利晴氏とその子息・梅千代王丸であることが近年明らかになってきたのです。そして足利晴氏はそのころ「葛西様」と呼ばれていたことも分かってきました。

こうして葛西城が、単なる戦いの砦などではなく、古河公方足利晴氏の御座として関東に睨みをきかすほど重要な地点であったことが明確になったのです。

講師の谷口榮氏（葛飾区観光課主査学芸員）は、発掘された高級遺物や古文書の紹介などを通して戦国時代に占める葛西城の歴史的位置を明らかにしていただきました。そして地位の高い女性の打ち首の発掘など、非情で厳しい戦国の世をあらためて感じているお話などをお聴きしました。(斉藤文孝 記)



日光街道その3 越谷からせんげん台へ

古道探索倶楽部 9月7日に開催

残暑が続き本日の予想最高気温 33 度！ おまけに朝からピーカンである。9時半に越谷駅を出発。越谷宿の商業地区であった元荒川の南側は蔵造りの商家や町屋が街道沿いに点々と残り現在営業中の店もあり、市神社とともに宿場の風景を残していた。川を渡った宿泊地区大澤は3件の本陣跡の説明板があるだけで建物は残っておらずちょっと残念であった。(中略)次に寄ったのが宝性院越谷別院。下見の時何気なく覗いていると若いお坊さんが出てきたので見学の趣旨を説明すると「当日お待ちしております」との返事を頂いていたのである、軽い気持ちで案内を告げるとご住職が出てきて本堂に案内される、お香が焚かれており、ご住職の丁寧な講和を聞く、そのあと、我々は厨子を開いた本尊に線香をあげお祈りまで出来た、その間は住職の般若心經の読経である、帰り際に「今日は暑いですから皆さんにどうぞ」とペットボトルの御茶まで用意してあった！。善意によっておこるハプニングにはなかなか巡り会うことができないが古道探索では何度か経験したような気がする。



荒川沿いに設置された宮内庁埼玉鴨場前の広場で記念写真、越谷市のシンボルであるガーヤちゃん発祥の地である、流石に鴨を見ることはできなかったが、広大な鴨場は塀の外からも感じる事が出来た。旧日光街道1車線の狭い道を1列縦隊で歩いていると街道沿いに庚申塔や石仏、石塔などが散見され、この道を江戸時代から人々が旅していたことを感じる事が出来た。(詳しくはブログを)

◆番外編 紅葉の高尾山・富士道へ◆

2019年(令和元年)11月29日(金)に「まち歩き研究会」

《日時》2019年(令和元年)11月29日(金) 10時00分～15時00分頃

《集合》(JR高尾駅乗換)京王線・高尾登山口駅前 午前10時 集合 雨天中止

《費用》交通費は各自負担。保険と参加費用：300円

《概要》かつて甲州街道・小仏の関を越えない「前富士」という富士詣出がありました。北条氏康により高尾山へ勧請された富士・浅間大権現を参拝、紅葉の高尾山・富士道を歩いてみます。表参道登山口よりケーブル高尾山頂駅までは約2時間ほどの坂道歩き。山頂駅から薬王院までは約30分、険しくはなし。《行程》高尾山登山口駅⇒清滝登山口 ここから表参道登山開始(ケーブルカー有=490円)⇒薬王院・飯縄神社⇒浅間神社参拝⇒富士道を歩いて高尾山頂へ(昼食)⇒紅葉台⇒下山(徒歩またはケーブルカー)

《申込・問合せ》①なるべく「ホームページ」の「申込フォーム」より送信フォームをお願いします。

②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp ③FAX: 048-470-2758 も可

◆第31回古道を訪ねて 日光道中その4◆

2019(令和元年)年11月9日(土)に「古道探索倶楽部」

《日時》2019年(令和元年)11月9日(土) 集合9時30分～解散15時30分(予定)

《集合》東武伊勢崎線武里駅改札口周辺 9:30

《コース》東武伊勢崎線武里駅⇒雷電神社⇒善功寺⇒円福寺⇒庚申塔⇒八坂神社⇒東陽寺⇒資料館⇒解散東武伊勢崎線春日部駅

《費用》資料代等・参加費 300円

《その他》歩行距離は約10kmで、史跡巡りを入れると11km少々。お弁当と飲物は必ず事前に御用意願います。

《問合せ先》前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

《参加申込み》11月02日(土)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して 〒339-0058さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて 友の会ホームページ申込可

*新シリーズ日光道中歴史散策は、東武伊勢崎線竹ノ塚駅より栗橋駅までを8回シリーズで、お届けしています。

～ 甲斐の国へいざ出陣！！ ～

“2019年開府500年を迎えた甲府市へ”



山梨の歴史探訪

〈見学コース〉

①山梨県立考古博物館（特別展『縄文文化の頂点』開催中）と隣接の古墳、②第二の善光寺と称される甲斐善光寺、③武田神社（国史跡武田氏館跡）と信玄ミュージアム、④「心頭を滅却すれば火も自ら涼し」の恵林寺（武田家菩提寺）⑤日本のワイン発祥の地・シャトー勝沼（試飲・お買物）

〈行程予定〉

ソニックシティ西側⇒県央道桶川北本インター⇒中央道甲府南インター⇒山梨県立考古博物館⇒「かいてらす」のレストランで昼食（山梨名物料理）⇒甲斐善光寺⇒武田神社⇒恵林寺⇒シャトー勝沼⇒中央道勝沼インター⇒圏央道桶川北本インター⇒帰着（ソニックシティ西側）

〈ご注意〉

長い参道の寺社や、階段を登る古墳もありますので、必ず歩きやすい靴と服装でお出かけください。

日 時：2019年（令和元年）11月20日（水） 雨天決行

出 発：午前7時30分（発車時間です・時間厳守）

集合場所：大宮駅西口ソニックビル西側（友の会旗を掲げています）

参加費：8,000円（当日集金）

〈ご参加のお申込みは～〉

- ・締 切 り：10月31日（木）・定員：45名（先着順）
- ・会員限定ですがご家族、ご友人は参加できます。
- ・申込方法：往復はがきに、会員番号・氏名・住所・年齢（考古博物館に提出する参加者名簿に年齢記載が必要。）・電話番号（できれば携帯）を記載して下記宛先までお送りください。
- ・宛 先：〒330-0852 さいたま市大宮区大成町3-503-4 高瀬 敏男 宛
- ・座席の希望・集合場所地図の希望の方はハガキに付記してください。
- ・見学会に関するお問い合わせと当日緊急連絡先：080-7526-4332 事務局 高瀬 敏男

祝いと遊び

～儀礼と玩具からみる子どもの世界～

幼少期の死亡率が現在よりも高かった時代、子どもたちは、成人する前の特別な存在として地域社会の中で位置づけられてきました。誕生から幼少期に繰り返される様々なお祝いごとや行事には、子どもの無事な成長や健康を願う人々の願いが込められています。そうした子どもにまつわる習俗のなかでも、今回の講座では、埼玉県の工芸品として有名な「鴻巣の赤物」や所沢・春日部の「押絵羽子板」、加須の「鯉のぼり」など、埼玉ゆかりのものを中心にお話をいたします。

講師の後藤さんは、日本民俗学がご専門。10月12日～11月24日開催の特別展「子ども／おもちゃの博覧会」を担当されています。当館の民俗分野の展示担当として、常設展示室第10室（民俗）もご担当です。

講師 後藤 知美 氏 当館学芸員

日時 2019年（令和元年）11月12日（火）午後1時半～2時半

（開場：午後1時）

場所 当館講堂 東武アーバンパークライン（野田線）大宮公園駅下車徒歩5分

参加費用 無料

ご参加のお申し込みは、**通常ハガキ**に、開催日、イベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記の上、締切：11月5日（火）までに、下記の宛先へ。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

*郵便はがきの料金が10月より**値上げ**になっていますので、ご注意ください。返信はいたしません。お申込みいただければ、ご参加いただけます。会員限定ですが、ご家族、お友達にご参加いただけます。

*「友の会ホームページ」の「申込フォーム」からも応募できます。（返信はいたしません）

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会